

# 平成 29 年大滝会新年の集い報告

報告：特別会員 鹿摩貞男

## 〈新年の集い〉

日時 平成 29 年 1 月 22 日（日） 16:00～

場所 飯坂温泉みちのく荘（福島市飯坂町小滝）

## はじめに

今年の「新年の集い」は、飯坂温泉「みちのく荘」で開催されました。写真を中心として当日の報告を致します。当日は、平成 28 年の活動報告や平成 29 年の活動計画等の報告が始めにありました。その後に大宴会となって楽しい一時を過ごし、部屋に戻って二次会に移り懐かし思い出話やこれからのことについて心ゆくまで語り合いました。参加者は 19 名です。

翌日の帰りは大雪となり朝車上（屋根）で 10 センチ程の積雪があり激しい雪降りの中で解散しています。筆者は、帰路雪の十綱橋を見に行きましたので、余計なことですが文末に写真を紹介させていただきました。

〈当日の内容〉

○開会と報告 （司会 伊藤弘治役員）

開会の言葉 高野英治副会長

挨拶兼活動報告 木村義吉会長

お礼の言葉 半田サキ様

除染実施報告 柁木新吉副会長、西田稔様

○大宴会 （司会 伊藤弘治役員）

（二次会）

（写真①～④）



① 会場の飯坂温泉「みちのく荘」



② みちのく荘客室から摺上川上流側を望む



③ みちのく荘客室から摺上川下流側を望む



④ ロビーにて

## 開会と活動報告

宴会に先立ち、平成 28 年の活動報告と新年平成 29 年の活動方針等について、役員部屋において説明がありました。

司会進行は伊藤役員があたり、最初に高野副会長から開会の挨拶をいただき、ついで木村会長から挨拶を兼ねて平成 28 年活動の概要と平成 29 年の活動計画等について報告がありました。

平成 28 年の主な活動として、5 月 29 日には「栗子ハイウェイ開通 50 周年記念シンポジウム」(米沢市)に 11 名が参加したこと、大滝集落内の道路補修を市役所に陳情 9 月に実施して貰ったこと、集落内の放射能除染(6 月～12 月)の実施等について報告がありました。平成 29 年についても引き続き大滝会として各種の活動をおこなうとの説明があり、当面の話題としてテレビ局からの取材申し込みがあったことが紹介され、その対応については会長に一任することとしています。

次に榎木副会長から除染の実施と終了したことについて詳細な報告があり、西田氏からも若干の補足説明がありました。

最後に半田サキ様からご主人様(故半田久三郎様)の葬儀に関してお礼の言葉がありました。

この後質疑応答があり説明会を終了、会場を大広間へ移し大宴会となりました。

(写真⑤)



⑤ 報告会

## 大宴会と二次会

大宴会も、引き続き伊藤役員の司会で進行しております。誠に僭越ではありましたが、ご指名により筆者鹿摩の発声にて乾杯をおこない宴会が始まりました。

宴会では、ご馳走に舌鼓を打ちながら皆様それぞれ和やかに歓談をされていたようです。

なお、今回も飲み物や食べものの差し入れをして頂き御礼申し上げます。

8 時過ぎにはおひらきとなり会場を役員部屋に移し二次会となりました。10 時過ぎまで楽しく

交わらせていただきました。

(写真⑥～⑩)



⑥ 全員集合記念写真



⑦ 女性の皆様、記念写真



⑧ 懇親会



⑨ 懇親会



⑩ 懇親会



⑪ 懇親会



⑫ 懇親会



⑬ 懇親会



⑭ 懇親会



⑮ 懇親会



⑯ 懇親会



⑰ 懇親会



⑱ 懇親会



⑲ 二次会



⑳ 二次会

## おわりに

宴会等では、貴重なお話しを皆様からお伺いしました。ありがとうございます。

翌日には前記の通り大雪となってしまいましたけれども、雪の「十綱橋」の写真を撮る貴重な機会となりました。

(写真⑳～㉔)



㉑ 飯坂線(電車)飯坂温泉駅 左側に芭蕉銅像  
(その左側が十綱橋、湯野に至る)



㉒ 十綱橋と芭蕉銅像 飯坂温泉駅前



㉓ 3代目「十綱橋」(L=54m、W=6.8m)、  
右岸飯坂温泉駅側から望む



㉔ 十綱橋、左岸湯野側から望む。  
主要地方道(県道)3号線福島・飯坂線終点



㉕ 3代目「十綱橋」(L=54m、W=6.8m 鋼アーチ橋)  
大正4年(1915)9月完成、平成27年(2015)9月  
100周年) 下流右岸飯坂線飯坂温泉駅から望む



㉖ 十綱橋、左岸上流湯野側から望む。  
H16.11 土木学会選奨土木遺産認定



㉗ 摺上川、十綱橋から上流を望む。  
正面共同浴場「波来湯(はこゆ)」(H23 改築)



㉘ 摺上川、十綱橋から下流を望む。  
正面西根堰の西根下堰(にしねしたせき)  
頭首工(とうしゅこう) S55・03 完成



㉙ 参考写真 十綱橋、  
下流側の西根下堰から望む。 H221128

本報告書の編集にあたり大滝会 HP 管理人紺野文英様にお世話になりました。お礼申し上げます。

— 以上 —